

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2013年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- イ) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクピンは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳およびやり投の場合は12mm以下とする。
- ロ) 観戦はスタンドで行い、大会本部付近や競技場内には立ち入らないこと。なお、集団応援はバックスタンドのみとする。
- ハ) カメラやビデオなどでの撮影において、許可のないものについては禁止とする。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。

3. ナンバーカードについて

- イ) ナンバーカードは正規のもの2枚を胸部と背部に確実につけること。ただし、跳躍種目の場合はどちらか一方でもよい。
- ロ) トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ付近で係員に返却すること。

4. 招集について

- イ) 競技者招集所はメインスタンド北側の選手控えホール(100mスタート付近)に設ける。
- ロ) 招集時間は下表の通りとする。

	招集開始	招集完了
トラック	競技開始 40分前	20分前
フィールド (棒高跳を除く)	競技開始 60分前	40分前
棒高跳	競技開始 70分前	50分前

- ハ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- ニ) リレーオーダー用紙は主催者が用意し、事前に配布したものを使用する。リレー種目に出場するチームは、オーダーの変更の有無にかかわらずその都度オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、第1組目の招集開始1時間前までに競技者係に提出すること。(メンバーについては競技規則第170条を参考のこと)
- ホ) 混成競技は各日、最初の種目の30分前に招集を行い、以後の招集は行わない。

5. 棄権について

当日やむなく棄権する場合は、棄権届(大会本部に用意)に必要な事項を記入し、捺印したものに、棄権料500円を添えて大会本部に提出すること。ただし、代表者会議で棄権を申し出た場合は、棄権料は徴収しない。棄権届を提出せずに棄権した場合は、その競技者の本大会での他種目への出場を認めず、今後の大会等にペナルティを与える場合がある。また、招集に遅れた場合もこれに準ずるので十分注意すること。

6. 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポール・やりについては、個人所有のものを使用することができる。各々検査を受け、許可されたものでなければ使用できない。なお、検定を受けて許可を得たやりについては、主催者借上げの共有やりとする。

なお、やりの検定は招集完了1時間前に用器具庫にて、ポールは跳躍ピットにて行う。

7. ウォームアップについて

イ) 本競技場は、開門から競技開始30分前まではトラックを全面使用できる。ただし、開会式中もしくは競技の準備に支障の出る場合はウォームアップを中断すること。また、場内放送や競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

ロ) 北競技場は、開門からトラックを全面使用できる。ただし、芝生は立ち入り禁止とする。また、用器具はスタートブロック・ハードル・走幅跳・三段跳のみ貸し出しをする。

ハ) レクリエーション広場は使用できる。ただし、一般の人と共用となるので、気をつけること。

8. 競技について

イ) 時計・計測について

トラック競技の時計は、電気計時(1/100秒)を用いて行う。

ロ) 以下の種目については、スタート後一定時間を経過して残り1周に達していない場合、または競技日程に支障が出ると審判長が判断した場合、審判長の指示により競技を中止させることがある。

男子5000m…スタート後18分、男子10000m…スタート後35分

女子5000m…スタート後20分、女子10000m…スタート後40分

男子10000mW…スタート後50分、女子10000mW…スタート後58分

※ ただし、各競技8位入賞者がゴールするまでは、制限時間を超過しても競技を続行することがある。

ハ) 跳躍競技(高さで順位を決定する競技)のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子走高跳(1m75-2m00-2m10) 1m80-1m85-1m90-1m95-2m00-2m03(以後3cmずつ)

女子走高跳(1m35-1m50-1m65) 1m40-1m45-1m50-1m55-1m60-1m63(以後3cmずつ)

男子棒高跳(4m00-4m40-4m80) 4m20-4m40-4m50-4m60(以後10cmずつ)

女子棒高跳(2m80-3m20-3m60) 3m00-3m20-3m30-3m40(以後10cmずつ)

※ ()内は練習の高さ

※ 第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

※ 第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

※ 天候等に応じて審判長の判断で開始の高さを変更する場合がある。

※ 天候に応じて上記のバーの上げ方を該当審判員または、審判長の判断で変更する場合がある。

ニ) 三段跳の踏切位置について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。

※三段跳の踏切位置は該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。

ホ) 走幅跳・三段跳のピットについて

スタンド側のピットをAピットとし、トラック側のピットをBピットとする。

ヘ) 給水について

5000m、10000mおよび競歩の給水については天候に応じて水とスポンジを用意する。場所はバックストレート側に設置する。給水後のコップ、スポンジについて他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

ト) 本大会のトラック競技において各レースで1回でも不正スタートをした競技者を失格とし、混成競技においては2回目以降に不正スタートをした競技者をすべて失格とする。スターターの合図は英語(「オン・ユア・マークス」、「セット」)にて行う。

9. オープン種目について

競技力向上の観点から、男女5000m・男女棒高跳・男女砲丸投・男女円盤投・男女ハンマー投・男女やり投のオープン参加を認める。ただし、フィールド種目の試技回数は3回とする。また、男女5000mについてはオープン参加者のみの組でレースを行う。

10. 表彰および対校得点について

イ) 第3位までに入賞した競技者には表彰を行うので、競技終了後表彰係の指示に従うこと。

ロ) 対校得点は1位…8点、2位…7点、3位…6点、4位…5点、5位…4点、6位…3点、7位…2点、8位…1点とする。

ハ) 出場者が7名以下の場合も、1位から8点とする。

ニ) 対校得点が同点の場合は上位入賞種目の多い方を上位とする。

11. 抗議と上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内(予選、準決は15分以内)に、担当総務員を通じて口頭で審判長になさなければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書と預託金10,000円を添えて上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

12. 緊急看護について

イ) 競技中の事故による身体の故障については医務室(フィニッシュ付近スタンド下)において応急処置を行うが、その後の治療は本人の負担とする。

ロ) 事故の結果について、本連盟は一切責任を負わないものとする。

13. その他

イ) 公開トレーナーについて

本大会では、愛知陸上競技協会医事部が医務室において競技者のコンディショニングと応急処置を行う。出場者ならば誰でも利用できる。

ロ) 競技会において競技者はビデオ、音楽機器、ラジオ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込んではいならない。

ハ) 競技運営上、多少の競技日程変更がありうる。

ニ) 盗難・紛失について

盗難・紛失について主催者で受領した物品については大会本部で一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。大会終了後は本連盟事務所にて1ヶ月間保管し、申し出のないものについては処分する。本連盟までメールにて問い合わせること。

ホ) 競技場の開門時間および閉門時間について(予定)

	開 門	閉 門
第1日目【5月17日(金)】	10:30	19:00
第2日目【5月18日(土)】	8:30	18:00

第3日目【5月19日(日)】 8:30 18:00

※開・閉門時間は厳守のこと。違反した場合は、厳重に処罰する。

へ) 駐車場について

一般有料駐車場(一日500円)を使用すること。近辺での路上駐車は厳禁とする。

ト) 競技場の清掃について

各大学で出たゴミは各自で持ち帰り、使用した場所は清掃して帰ること。また、競技終了後の清掃については、担当大学を平成25年5月15日(水)の代表者会議で指名する。

チ) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

以上の事柄および本大会の規則については大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合があるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。